がっ けっかんもくひょう

7月の月間目標



「ありがとう」と感謝の気持ちを言葉で伝えることができていますか?「ありがとう」という言葉は、伝える人も、伝えられる人もうれしくなる素敵な言葉です。小さなことでも、「ありがとう」と声に出して伝えましょう。感謝の気持ちを素直に伝えることで、子どもたちは豊かな人間関係を築いていくことができます。友達との関係が深まっていくこの時期、些細なことでも「ありがとう」と伝えることの大切さを御家庭でも話してみてください。

まずは大人が感謝の気持ちを伝えてみましょう

慣れ親しんだ家族関係では、つい「ありがとう」という言葉を省略してしまうことがありませんか。忙しい時ほど、子どもの小さな行動に目が向きにくいものです。食事の後、家族のお血を下げてくれた、常めな妹の面質をみてくれたなど、ちょっとしたお手伝いにも「ありがとう」「助かったよ」と伝えてみてください。感謝の気持ちを伝えられている子どもは、人に対しても、自然と感謝の言葉が口に出るものです。

まずは大人が感謝の言葉を口にして、子どもが人の好意に対して自然と 「ありがとう」が言える環境づくりをしていきましょう。

**でいきょういくしまん 家庭教育支援チームって、知っていますか?

保護者の皆さんが安心して子育てができるよう、社会全体で子育てを た接していくことができるよう、「家庭教育支援チーム」があります。

「家庭教育支援チーム」は、子育て経験者をはじめとする地域の多様

な人材で構成された自主的な集まりで、身近な地域で子育てや家庭教育に関する相談にのったり、地域の情報などを提供しています。奈良県では、現在17チームが文部科学省に登録しています。詳細は家庭教育 Web ページ(右下QR コード)から見ることができます。



